

しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

<電源喪失時の訓練>

1. はじめに

当社では、迅速かつ確に事故の収束対応ができるよう、日頃から様々な事象を想定した訓練を行っています。3月9日にすべての電源が喪失したことを想定した訓練を実施しました。

2. 電源車の起動訓練

外部電源(2回線)が喪失し、再処理事業所内の非常用ディーゼル発電機(6台配備)もすべて使用できない場合、電源車(7台配備)を使用して各建屋に電気を供給します。これにより、高レベル廃液貯槽等の冷却機能を維持し、温度や水素濃度の上昇を防止します。訓練では、電源車へのケーブルの繋ぎこみや起動を行いました。



電源車から非常用電源建屋へ電気を送るためのケーブルを敷設する様子



電源車を起動する様子

3. 可搬型空気圧縮機の起動訓練

外部電源が喪失し、既設の空気圧縮機が停止した場合、貯槽内の水素濃度が上昇し爆発しないよう、可搬型空気圧縮機(3台配備)を使用して空気を送り込みます。訓練ではホースの敷設や可搬型空気圧縮機の起動を行いました。



可搬型空気圧縮機にホースを接続する様子



圧縮空気を建屋へ送るためのホースを繋ぐ様子

今後も現状に満足することなく、様々な事象を想定した訓練を繰り返し行い、「昨日より今日、今日よりも明日」と、一人ひとりが対処できる力を磨きながら、地域の皆さまにご安心していただけるよう、社員・グループ会社・協力会社が一丸となって取り組んでまいります。